

住民税

2倍、3倍... 10倍にも、来年も再値上げ

「いくらなんでもひどすぎます」

みなさんと力を合わせて
実現にがんばります

高齢者や障害者の介護施設の増設、介護保険料・利用料の減免、在宅介護の充実をはかります。
乳幼児医療費の負担軽減、保育所や児童クラブなど子育て環境の整備をはかります。
30人学級の実現や父母負担の軽減をはかり、一人ひとりゆきとどいた教育をめざします。
低賃金、長時間労働を是正し、若者の雇用の安定をはかります。
地元商店街を守る施策を提起し、「地産地消」で農業・漁業の振興と食の安全をはかります。



根本陽一

日本共産党日立市議会議員
(県議選予定候補)

7期26年の経験を生かし、くらしの声を県政に届けます。

日本共産党演説会

とき 11月8日(水)
午後7時より

会場 多賀市民会館ホール

ごあいさつ

紙 智子(参議院議員)
弁士 根本陽一(日立市議)

おおそね勝正(日立市議)
小林 まみ子(日立市議)

くらしを守る
県議がどうしても
必要です

地方自治体の役割は「住民の福祉の増進をはかる」(地方自治法第1条の2)ことです。その役割を果たすどころか、国と一緒に負担増を押し付ける自民、公明、民主の「オール与党」県政。日立から、くらしをまもるためがんばる日本共産党県議がどうしても必要です。今度は党派を超えて、根本陽一さんを押し上げてください。



増税案にダンマリ

反対したのは共産党だけ

国会で増税を決めても、県民に押し付けるには、県の条例を変えなくてはなりません。増税条例案に反対しくらしをまもるため奮闘したのは日本共産党だけです。他の議員はすべて賛成、国の悪政を後押ししています。

個人県民税の定率減税廃止
(ことしの3月県議会)

反対	共産党
賛成	自民、民主、公明の各党派

Aさん夫妻(70歳)の
住民税: 年金280万円



6月に住民税の納付書が配られ、「去年の10倍以上」「計算の間違いで」など増税への驚きと怒りが広がっています。今回の増税は、公明党が旗をふり、自民党、公明党が国会で強行したことによるものです。それによりさらに来年1月には所得税、6月には住民税の再値上げが計画されています。

住民税が上がれば、介護保険料や国保税も...

住民税増税に連動して国民健康保険税、介護保険料も値上げされ、市民の負担は限界です。日本共産党は、増税を即刻中止するよう政府に申し入れを行い、全国で署名運動を広げています。

原因は

自民・公明政権が決めた税制改悪

日本共産党が実施した
「アンケート」から

* 給料が減額されました。しかも人員削減により仕事量が増え、サービス残業や自宅に持ち帰っての仕事が増えました。
(40代男性)

* 年金が減額になり、介護保険料も少しくつだが負担が多くなりました。又、ガソリン代も上がり、本当に困ります。
(60代男性)

* 年金生活となって、しみじみ身のあわれを痛感しております。定年まで、老後のために安定した生活ができるようがんばって来ました。しかし、年金が下がり他に副収入のない自分には生きる事への不安が大きいです。
(60代女性)

* 生活用品、食料品、外出等ランクを落として節約するようになりました。
(70代女性)

県政、県議会
でみると

この思いにこたえて 全力をつくします 日本共産党

議員に求めることは？

- ムダづかいのチェック 75%
- 住民の声を届ける 57%
- 利権に関わらない 39%
- 議会報告をする 37%

日本共産党が県内で実施したアンケート。
複数回答、郵送で回収



百里基地に 米軍機くるな



百里基地内を調査する(左から)根本、大内、紙、塩川、山中、野口の各氏(ことし7月)

地元住民と力を合わせて

百里基地(小美玉市)への米軍機訓練移転問題。日本共産党は地元市長や住民と懇談し、「これ以上の騒音は耐えられない」という地元の声を取り上げ、知事もはじめて反対を表明しました。「米軍機くるな」の一点で、基地との共存を受け入れてきた人々とも、力を合わせています。

県議会 自民、公明、民主は沈黙

県民の安全にかかわる重大問題ですが、県議会では自民、公明、民主は沈黙。受け入れ反対を迫ったのは日本共産党だけでした。

港・ダム…もっとつくれの

大合唱 自民、民主、公明

「企業が来て、人が来る」と購入した土地が売れ残り、その後始末に莫大な県民の税金がそそぎこまれようとしています。「開発神話」は完全に破たんしています。ところが、茨城県議会では、見直どころか、「もっとやれ」の大合唱。「ムダづかいをチェックしてほしい」との願いに背を向けています。

常陸那珂港では…

- 自民** 「何でもかんでも中央ふ頭に着工できるように」
(99年9月20日の予算特別委員会)
- 民主** 「スーパー中枢港湾にまざることも劣らない常陸那珂港を」
(05年2月25日の代表質問)
- 公明** 「港湾内利用のトラックの、高速道路料金を割り引くような思い切った誘導策を」
(00年9月12日の一般質問)

巨大開発見直し 公共事業は身近なものに

日本共産党

県議会で巨大開発をただし、「ムダづかいをチェック」しているのは日本共産党です。ダム・水開発で、知事はついに「一人一日あたりの水使用量の見直し」を表明しましたが、「ダム建設は続ける」と矛盾した態度です。

日本共産党は、福祉施設の改修、学校の耐震工事、下水道や生活道路の整備など身近な公共事業を求めてきました。県立高校の建て替えや養護学校の改善をさせています。身近な公共事業は、中小業者に仕事がふえ、地域の活力につながります。

水需給計画の見直し、知事が表明

共産党議員 過大な計画は見直すべき

知事 「新年度に見直す。(一人一日最大給水量は)下がってくると思う」
(ことし3月の県議会予算決算特別委員会)

こんな税金の使い方 つづけてよいのでしょうか…

県住宅・土地公社が破たん
695億円の税金投入



売れ残った土地が下落。その穴埋めにまたもや県民の税金を投入します。

売れ残る水戸ニュータウン(1700戸の十原団地開発)

人口減少なのにダム・水開発



ハッ場(やんば)ダム予定地(群馬県 国交省パンフより) 霞ヶ浦導水事業のトンネル内(国交省パンフより)

新県総合計画で人口は減り続けると見込んでいます。それなのに水開発に巨費を投じています。

1日2隻しか来ないのに
さらに港づくり…



完成した北ふ頭はガラガラなのに、さらに三千億円以上を投入する中央ふ頭に着工しました。

船がほとんど来ない常陸那珂港北ふ頭

「ムダづかいのチェック」——日本共産党の住民アンケートに寄せられた声です。県議会でこの声にこたえているのはどの党、どの議員でしょうか。